

NEW SOLAR ENERGY ISSUE

X
PRESS

特集

経営者・会社役員
112人に聞きました!

「産業用太陽光発電」
導入前の疑問

09

September
2012

www.xsol.jp

PRODUCED BY

X SOL

X

PRESS

09

September
2012

CONTENTS

04

「産業用太陽光発電」
導入前の疑問
気になるアンケート
結果は……?

06

太陽光発電システムを
導入検討しようと思ったとき
不安に感じることは
何ですか?

08

X SOLUTION
50kW未満の
太陽光発電システム
パッケージ

10

XSOL OFFICE INTRODUCTION
事業所紹介
エクソル名古屋営業所

11

INFORMATION
XSOL最新情報のお知らせ

PRODUCED BY

XSOL

FOR INDUSTRIAL SOLAR POWER

QUESTION?

AND

SOLUTION!

経営者・会社役員
112人に聞きました!

「産業用太陽光発電」 導入前の疑問

7月にスタートしたFIT(固定価格買取制度)から、はや2か月。

ニュースや新聞などのメディアで「今が太陽光発電システム導入のチャンス!」と話題沸騰ですが、実際のところは、かなりの方が「何がどうチャンスなのか?」「導入のためには何から始めればいいのか?」「そもそも、太陽光発電とはどのようにいいのか?」などの疑問から、様子を見られている状態ではないでしょうか。

そこで今号の特集では、産業用太陽光発電システムの導入について、経営者・会社役員の方々112人を対象に第三者機関によるアンケート調査を実施。その結果、具体的にどのようなお悩みをどれぐらいの方がお持ちかが見えてきました。「太陽光発電システムを導入したいけれど……」と悩んでいるのは、あなただけではありません。今号は、それぞれのお悩みについて、わかりやすく回答をご用意しました。太陽光発電導入のチャンスを逃したくないあなたに必読の内容です!

※出典元:ネットリサーチ「Fastask」

※記事内のデータおよびコメントは、2012年8月実施のWEBアンケート結果によるものです。

ANSWER FROM MANAGERS

太陽光発電システムを導入する際、最も重視するのはコスト

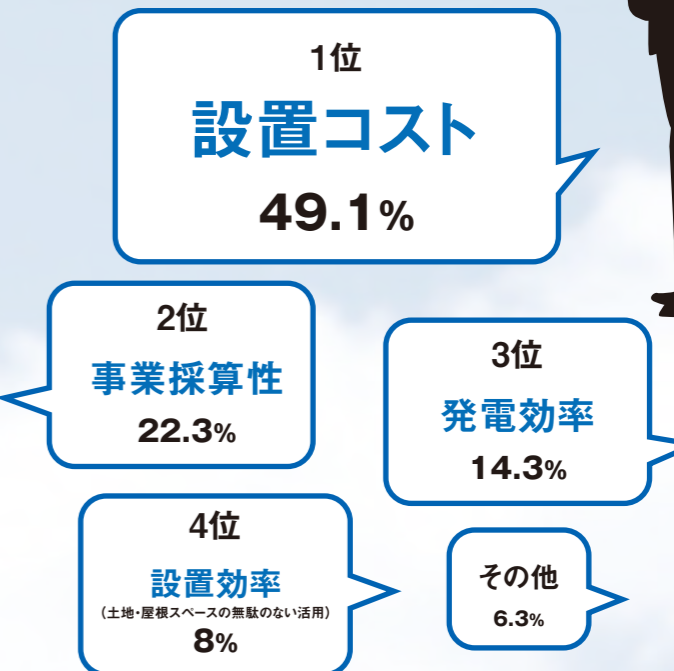
右記の結果をみると、回答者の7割以上(71.4%)が「設置にかかるコスト」や、運用が始まってから何年で投資回収できるのかといった「事業採算性」など、コスト面を重視しています。さらに、「できるだけ効率的に発電し利益を得たい」「今ある土地を最大限活用してシステムを設置したい」といった売電収益を見越した回答も含めると、実に9割以上(93.7%)がお金に関わる事柄であることがわかります。事業として太陽光発電システムの導入を検討するに当たって、当然の心配ごとだと思います。産業用太陽光発電システムは、設置規模も大きくなる分、費用も多くなります。そのため、利用できる法制度や運用の流れ・見直しなどについて、不安はしっかりと解消してから、導入を進めたいものです。

※事業採算性について

アンケートにお答えいただいた経営者・会社役員の方々が想定する投資費用の回収期間は、おおよそ「5年から10年」が44.6%と最も多く、次いで「11年から15年」が19.6%という結果になっています。ぜひ、導入時のシミュレーションをご覧になってみてください。

→詳しくはP.09へ

■太陽光発電システムを導入する際に最も重視する点は?



■太陽光発電システムの導入に興味を持つ経営者・会社役員の方々が抱える悩み

「太陽光発電システムを導入して、メリットはあるの?」 44.6%の方の悩み

→詳しくはP.06へ

「今のタイミングで導入していいものかどうか……」 22.3%の方の悩み

「場所や費用など、物理的な準備が難しい……」 13.4%の方の悩み

「産業用の太陽光発電をよく知る
エキスパートが周囲にいないので、相談ができない……」 6.3%の方の悩み

「他社も太陽光発電システムの導入を検討しているのかなあ。
もう少し様子を見た方がよさそう……?」 1.8%の方の悩み

左記のような悩みを解決するために、P.06・07では一般的な見解を紹介します。

次のページでは太陽光発電システムの導入を熱心に検討されている方や、導入を決意された方へのアンケート結果も紹介します。今から導入を検討される方も、すでに導入を決めている方も、参考までに一読ください。

→詳しくはP.04へ

QUESTION? AND SOLUTION!

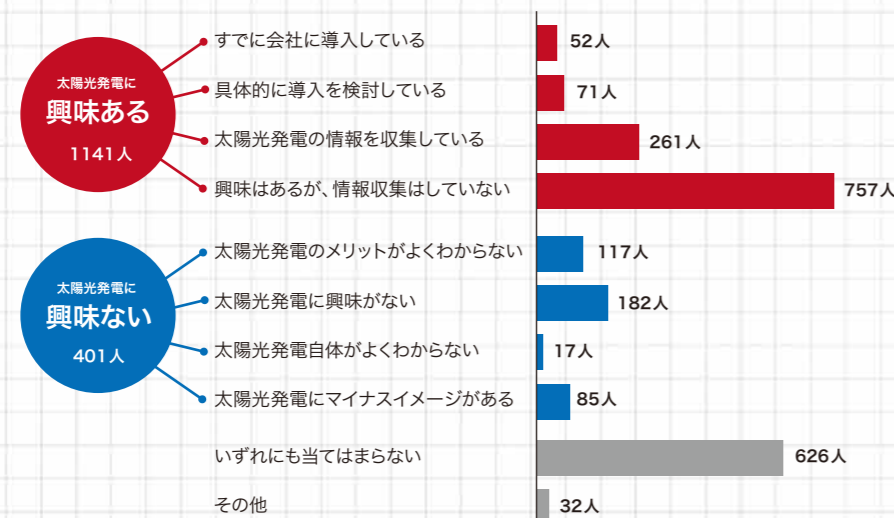
「産業用太陽光発電」導入前の疑問 気になるアンケート結果は……?

太陽光発電システムの導入に当たっては、さまざまな疑問が湧き起こります。コストや事業採算性を検討し、導入前にあれこれと考えることも必要な過程です。このページでは太陽光発電システム導入に対する世間の動向についてご紹介します。

※出典元:ネットリサーチ「Fastask」

Q1 太陽光発電システムに興味がありますか? また導入を検討していますか?

※このデータは、全国の経営者・会社役員の方々2,200人に対して実施したWEBアンケートによります。

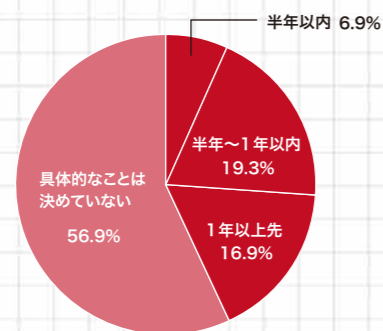


Q1のアンケート結果をこう見る!

太陽光発電システムの導入をすでに会社で決定している、検討中、意見提案中、それ以前……など、さまざまな段階の方がいますが、回答者2,200人中、実に半数以上の1,141人が「太陽光発電に興味がある」ことがわかりました。

Q2 導入予定時期はいつを考えていますか?

※このデータは、全国の経営者・会社役員の方々の中で、「太陽光発電システム導入を検討中」もしくは「情報収集中」と答えた332人に対して実施したWEBアンケートによります。



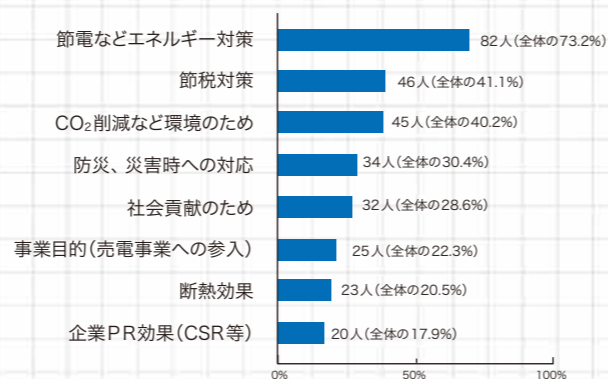
Q2のアンケート結果をこう見る!

導入を検討している方の43.1%が、数年以内の導入実現を予定しています。また、4人に1人は、1年以内に導入することを視野に入れていることがわかります。導入予定時期は資金や場所の確保、会社の方針により異なると思いますが、P.07では導入のタイミングについても触れていますので、ぜひご参照ください。

→P.07を参照!

Q3 導入の目的は何ですか?

※このデータは、太陽光発電の導入を考えている全国の経営者・会社役員の方々112人に対して実施したWEBアンケートによります。 ※複数回答可の質問です。



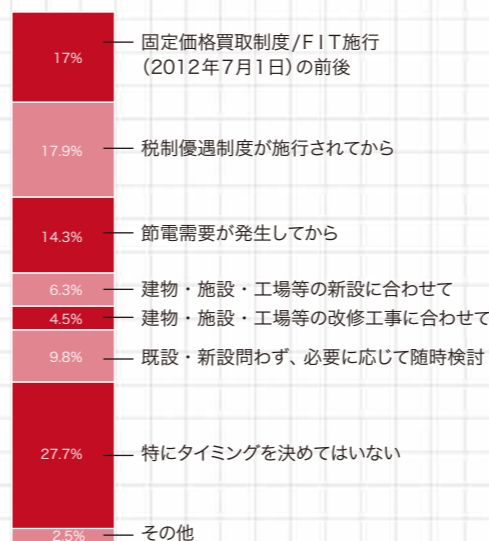
Q3のアンケート結果をこう見る!

昨今の不安定なエネルギー供給状況から、「エネルギー対策」と答えた方が7割以上と多い結果となりました。CO₂削減や地域への啓発など、エネルギーを通して社会に貢献したいと考える方も6割以上。環境意識の高まりが伺えます。4割の方が答えた「節税対策」も非常に重要な導入目的です。

→P.06を参照!

Q4 どのタイミングで導入を検討しましたか?

※このデータは、太陽光発電の導入を考えている全国の経営者・会社役員の方々112人に対して実施したWEBアンケートによります。

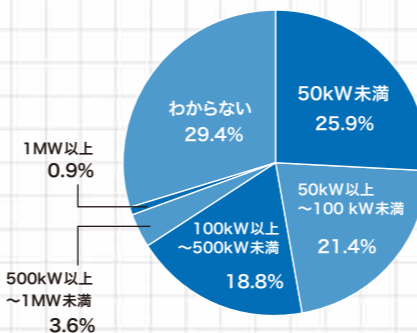


Q4のアンケート結果をこう見る!

「FIT(固定価格買取制度)」や「税制優遇制度」の施行が並んで大きなきっかけとなっており、経営者や会社役員の方々の太陽光発電に関する情報感度の高さが伺えます。全国的な節電需要の発生も次いで導入検討のきっかけになっていることがわかります。

Q6 導入を検討しているシステムの規模をおしえてください。

※このデータは、太陽光発電の導入を考えている全国の経営者・会社役員の方々112人に対して実施したWEBアンケートによります。



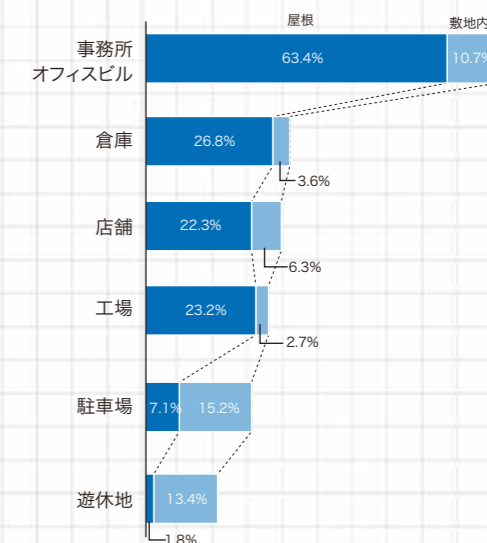
Q6のアンケート結果をこう見る!

家庭用と同じ低圧で設置できるため、手続きなどの面で高圧に比べると、比較的導入しやすい50kW未満システムを検討する方が、4人に1人という結果に。コスト面からしても、最初の導入規模として検討される方が多いのではないのでしょうか。今号では50kW未満システムをパッケージ化したサービスを紹介しています。

→P.08-09「X SOLUTION」のページへ!

Q5 導入場所はどこを検討していますか?

※このデータは、太陽光発電の導入を考えている全国の経営者・会社役員の方々112人に対して実施したWEBアンケートによります。 ※複数回答の質問です。

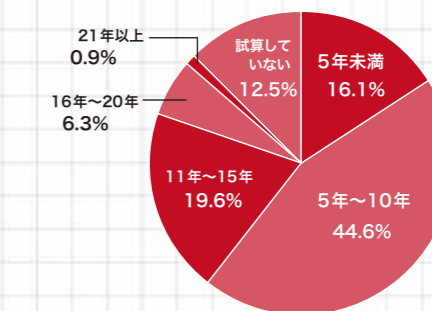


Q5のアンケート結果をこう見る!

設置予定場所は、事務所・オフィスの屋根が圧倒的に多いことがわかります。倉庫・店舗・工場を太陽光発電システム設置場所として検討している方も増えており、限られたスペースを有効活用することも太陽光発電の魅力です。

Q7 初期投資費用の回収は何年を想定していますか?

※このデータは、太陽光発電の導入を考えている全国の経営者・会社役員の方々112人に対して実施したWEBアンケートによります。



Q7のアンケート結果をこう見る!

産業用の固定買取価格42円(税込)は、現時点では20年の買取期間が保証されていますが、事業を運営するうえでは、できるだけ早く回収したいというのが本音。6割以上の方が10年以内に回収したいと答えています。P.08-09のX SOLUTIONでは概算シミュレーションを掲載しています。

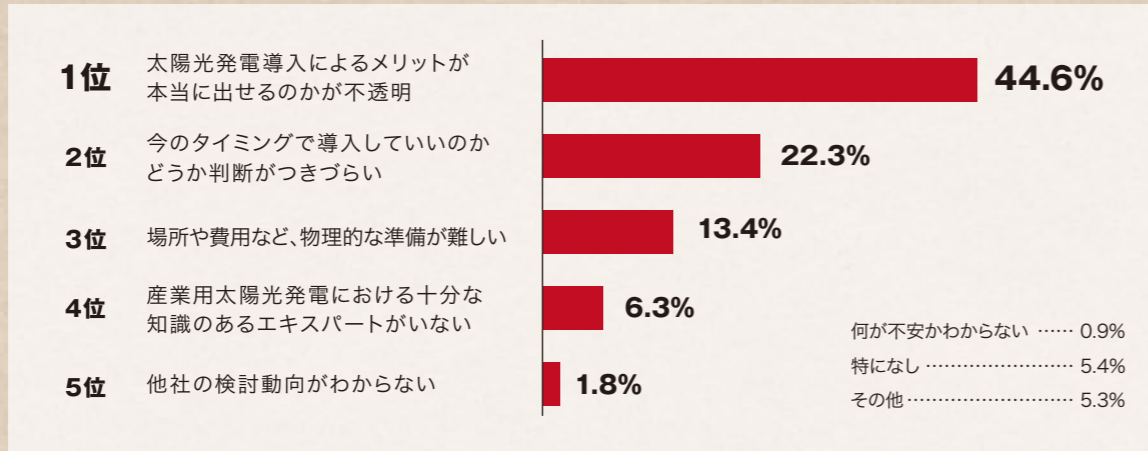
→P.08-09「X SOLUTION」のページへ!

今回実施したアンケートの結果、経営者・会社役員の方々の環境問題に対する意識の高さ、太陽光発電への情報感度の高さが伺えました。さらに、2012年7月1日からスタートした「固定価格買取制度」により、産業用太陽光発電システム導入への意欲も一層高まってきていると感じます。そうした中、当然の結果ではありますが、「初期投資費用が多くなるのではないか、何年で回収できるのか」などのコスト面を憂慮した声も多く、「太陽光発電システムを導入してみたいが不安も多い」という経営者や会社役員の方々の心の内を改めて知る機会となりました。

Q8 太陽光発電システムを導入検討しようと思ったとき不安に感じることは何ですか？

SOLUTIONS FOR SOLAR POWER SYSTEM

QUESTION? AND SOLUTION!



P.03でもご紹介したとおり、太陽光発電システム導入に当たっての大きな不安や悩みは上記の5つに絞られることがアンケート結果でわかりました。それぞれのお悩みについて、次から順番に解決していきましょう。

2位のお悩み(22.3%) 今のタイミングで導入していいのかわか判断がつきづらい

固定買取価格は、この先も42円(税込)という高価格が維持されることはないだろうというのが業界の見方です。固定買取価格は申請決定がなされた時点より20年の買取期間が保証されますので、今、この時点で42円(税込)を確定させたいものです。さらに、優遇制度の目玉であるグリーン投資減税の100%償却減税は、現時点の制度では2013年3月31日までとなっており、3月時点で設備を取得し売電が開始されている必要があるのです。大きな恩恵を受けられるチャンスは、残りわずかな期間しかありません。

😊 **今、導入を検討してよかった!**

今なら…

買取価格 **42円** (税込) / kWh

買取期間 **20年**

→早い投資回収が可能!

※2012年8月現在

😞 **しばらく様子を見て導入を検討しようと思っていたら……**

例えば…

買取価格 **35円** (税込) / kWh

買取期間 **20年**

→投資回収が長引く

(もったいない。あつとき決断していれば)……

1位のお悩み(44.6%) 太陽光発電導入によるメリットが本当に出せるのかが不透明

事業として太陽光発電システム導入を検討するに当たり、本当にメリットを出せるのか検討されるのは当然のことです。「採算がとれるのか、またメンテナンスコストがどれくらいかかってくるのか具体的に知りたい」、「法制度も含めて事業化できるのかどうか、どの程度のスケールで事業化するのが良いのか不明」との声がアンケートでも寄せられました。太陽光発電導入の具体的なメリットについては以下のものが挙げられます。

太陽光発電には、5つのメリットがあります

メリットその1

買取価格42円(税込) / kWh、買取期間20年の“国の保証”により、**高い事業採算性が見込めます!**

※2012年8月現在

→P.09の図表シミュレーション結果を参照



メリットその2

グリーン投資減税が利用でき、**節税対策**になります!



→P.09「グリーン投資減税とは?」を参照

メリットその3

さまざまな設置場所を検討できるので、**工場の屋根や遊休地を有効活用**でき、収入を得られます!



メリットその4

クリーンで枯渇しないエネルギーなので、地球環境に優しくかつ**電力不足に貢献**できます!



メリットその5

屋根上の設置は日光を遮ることで空調費用抑制が期待でき、**節電対策**にもなります!



3位のお悩み(13.4%) 場所や費用など、物理的な準備が難しい

設置場所の準備は難しいが費用はある方、費用の準備は難しいが設置場所はある方、どちらの方にも朗報です。建物の屋根を他社に貸し出す「屋根貸し」という事業が経済産業省他一部で開始されました(※1)。この事業モデルを活用すれば、設置場所のない方は、設置場所を借り太陽光発電を開始することができ、逆に費用がない方も、自社の未使用スペースを「屋根貸し」することで使用料を得ることができます(※2)。

さらに、費用の準備が難しい方のために、信販会社等でも太陽光発電に対する融資制度が充実しつつあります。



※1 2012年7月、神奈川県では固定価格買取制度を積極的に活用し、太陽光発電の公共施設への導入を促進するため、全国に先駆けて公募していた県有施設の「屋根貸し」による太陽光発電事業の参加事業者を発表した

※2 「屋根貸し」には面積や建物の耐震性、屋根の構造等、対象施設の条件があります。

4位のお悩み(6.3%) 産業用太陽光発電における十分な知識のあるエキスパートがいない

「家電量販店では一般住宅への施工について簡単な説明をしているが、事業用となつたらどこへ相談に行けばいいかわからない」「規模感がわからないので、目安となるパッケージ商品がないか」というようなお悩みを聞きます。XSOLでは太陽光発電システムをパッケージ化することで価格、部材、補償内容等を明確化しました。例えば「産業用の太陽光設備を検討しているが、2,000万の投資をした時に何kW位の設備が設置できるのか」というような疑問もスッキリ解決。

→P.08-09「XSOLUTION」のページへ

5位のお悩み(1.8%) 他社の検討動向がわからない

2013年3月期の各都道府県内企業決算予想では、東京電力による電気料金の引き上げで、製造業では相当な負担増を見込む企業が出ています。新たな負担増をカバーしようと、夏場の持ち回り制を変更したり、太陽光発電システムの導入を検討したりと、対策を検討する企業が多数出てきています。

→P.04「Q1」を参照

お客様の条件にあった、メリットの高いシステムをご提案 「50kW未満の太陽光発電システムパッケージ」

営業管理部 営業企画課長 木下 友里子

太陽光発電をめぐる動き

FIT(固定価格買取制度)の開始、税制優遇など国のバックアップにより、「太陽光発電設備の導入には今がチャンス」という声が日本で広まりつつあるのを実感しています。しかし、太陽光発電に興味を持っていても、多くの方は「太陽光発電はメリットがあるらしいけれど、具体的に何がどうメリットなのか」「導入したいと思っても、どこに相談すればいいかわからない」など、戸惑っておられるようです。また、太陽光発電のことを熱心に勉強されて、いざ「導入しよう」と決められた方でも、「相談する会社が信用できるかどうかかわからず躊躇している」ということが少なくないと聞きます。

なぜ「今」太陽光発電導入なのか

太陽光発電の導入は、今がチャンスと言われていることには、次の理由が挙げられます。

1つ目は政府による施策です。再生可能エネルギーを導入しやすくするため、各方面で規制緩和・法改正が進められています。いままで障壁となっていた部分が緩和され、導入に向けてハードルが下りつつあります。現在、固定買取価格は42円(税込)となっていますが、これまで海外でFITが施行されたときの価格や推移からみて、政府による導入推進が図られている時が有利であるというのが業界の一般的な意見です。今、導入を開始すれば、買取価格42円(税込)、買取期間20年が適用されます。このような理由から、今、太陽光発電設備を導入するのが得策だといえます。

2つ目はグリーン投資減税による税制優遇です。昨年6月30日から開始されていますが、今年の5月29日より従来の条件に加えて「取得価額を初年度に即時償却」できるようになりました。(右図/グリーン投資減税とは?参照)ただし、この即時償却を適用するには「2013年3月末までに設備を取得し「事業の用に供する」つまり、売電を開始しなければなりません。したがって今導入すれば優遇措置を受けられる可能性が十分あります。また、グリーン投資減税自体、2014年3月末まで適用となっており、今、太陽光発電導入は追い風の状況となっております。

どのように設備導入すればいいのか

冒頭でも申し上げましたとおり、太陽光発電がすべての方にご理解いただいている訳ではなく、また、太陽光発電自体わかりにくい、と思

れるところもあるため、お客様からご相談を受けた際は、太陽光発電についての十分なお説明が必要となります。

そこで、弊社は「すぐに設備導入したい」「しかも、わかりやすい説明で納得のいくものを」という多くのお客様の声に応えられるような商品設計をいたしました。それが、今回ご紹介する「50kW未満の太陽光発電システムパッケージ」です。このパッケージは、いくつかの組み合わせパターンを用意し、お客様の設置環境に合わせ、最適なセットをわかりやすく簡単に選んでいただけるようにいたしました。太陽光発電の専門企業として11年の経験と実績を積み重ねてきた弊社が、お客様のニーズに合わせて企画したおすすめ商品となっております。

なぜ50kW未満なのか?

この商品は、太陽光モジュール、架台、パワーコンディショナーなどのシステムがセットになっております。なぜ50kW未満なのか、理由はズバリ、家庭用と同じ低圧で設置できるからです。50kWを境に、低圧と高圧に分かれますが、低圧と高圧では使用される機器・工事の資格・電力会社へ連系するための事前協議の有無など、様々な違いがあります。当然ながら高圧に対応する機器はより高額になりますし、設置kW数が大きくなれば使用するモジュールの枚数や機器の数が多くなり、導入の初期費用は高くなります。

さらに、高圧の場合、低圧に比べワンランク上の資格が必要となります。したがって、有資格者の確保も必要となり、人件費にも差が出てきます。現在有資格者が不足しており、人件費が高騰しているに耳にしますが、低圧であれば工事ができる資格者はそれに比べ多くなりますので、そのような心配はありません。このようにまず、コスト面で差があります。

また50kW未満は、メガソーラーといわれる大規模発電設備と比べ、広大な場所が必要ありません。遊休地や、屋根・屋上といった身近な場所に設置可能です。目安としては、約50kWの設備を設置するのに、条件によって異なりますがおおよそ500~600㎡(約151坪~181坪)となります。したがって大規模なものに比べ工期も短く、少しでも早く売電を始めたい方には有利な条件ではないでしょうか?

このような点から、「50kW未満の太陽光発電システムパッケージ」は、「導入のしやすさ」や「わかりやすさ」をコンセプトとし、特に初めて太陽光発電を導入される方にとって安心かつ優しい商品となっております。

パッケージ
の内容

The Value Solar Solution

50kW未満の太陽光発電システムパッケージ



などの太陽光発電システムをセットでご提供します。



グリーン
投資減税とは?

- 1 青色申告をしている中小企業者に限り、設備取得価額の7%相当額の税額控除
- 2 青色申告をしている法人又は個人を対象に、普通償却に加えて取得額の30%相当額を限度として償却できる特別償却
- 3 青色申告をしている法人又は個人を対象に、取得価額の全額を償却(100%償却、即時償却)できる特別償却

※買取制度の認定を受けた10kW以上の設備が対象

シミュレーション
(概算)

利益2,000万円 法人税40%とした場合 税額 800万円...①
設置条件:48kWの太陽光発電システムを屋根に設置した場合
予想売電収入 年間→201.6万円(42円(税込)×48,000kWh) 利益計 2,201.6万円(利益+売電収入)...②

コスト	内訳	通常償却	100%償却減税
イニシャル	設置費用概算	2,000万円	2,000万円
	借入	2,000万円(100%借入)	2,000万円(100%借入)
ランニング	金利	40万円/年(年利2%の場合)	40万円/年(年利2%の場合)
	維持・管理	40万円/年(機器保守・交換等)	40万円/年(機器保守・交換等)
	保険	10万円(オプション)	10万円(オプション)
	減価償却	117万円(17年)	2,000万円(100%償却)
経費合計(③)		207万円	2,090万円
利益+売電収入(②)		2,201万円	2,201万円
収支(②-③)		1,994万円	111万円
税金(法人税)④		797.6万円 → 節税約24,000円(①-④)	44.4万円 → 節税約7,556,000円(①-④)

グリーン投資減税の100%即時償却を利用した場合 実質イニシャル 回収期間 → 2,000万円(設備) - 755.6万円(節税分) = 約1,244.4万円
→ 1,244.4万円(実質イニシャル) ÷ 201.6万円(年間売電収入) = 6.17年(ランニング含まず)

※あくまでもシミュレーション上の計算のため、条件等により変動します

設備導入による減税効果

太陽光発電設備を導入し、2013年3月までに設備取得・売電が開始でき、前述のグリーン投資減税「取得価額の全額償却」を適用した場合、具体的にどのような減税効果が期待できるのでしょうか。

上記のシミュレーション(概算)図をご覧ください。こちらは、年度利益2,000万円の会社が、太陽光発電(48kWシステムと仮定)を屋根に設置した場合に、通常償却と100%償却減税とで、どの程度法人税額に差が出るのかを算定したものです(実行税率40%とする)。

まず、太陽光発電で得られる年間の予想売電収入は、201万6千円です。これは現在の固定買取価格42円(税込)と、年間に発電される電力量4万8千kWh(48kW×年間発電係数1,000kWh)を掛け合わせたものです。

通常償却の場合、年度利益2,000万円と売電収入201万6千円を合わせた2,201万6千円の利益に対し、経費が207万円となるため、収支の結果、税金は797万6千円となります。

100%償却減税の場合、年度利益と売電収入は一緒ですが、設置費用の2,000万円が初年度に100%即時償却されますので、収支の結果、税金が44万4千円となり、年度利益の40%を法人税とした800

万円に対し、約755万円と減税効果が見込めます。税金と設備、同じ金額を支払うのであれば、売電収入を生み出す太陽光発電設備への投資は魅力的ではありませんか?

オプションなどカスタマイズも充実

当パッケージには補償・セキュリティなど、お客さまのご希望に合わせて選んでいただける「オプション」もご用意しております。例えば、太陽光発電設備は安価なものではありません。ひとけのない場所に設置する場合などは、フェンス設置やセキュリティ監視システムを利用し、盗難事件等を未然に防ぎ、安心して運営いただけるようお手伝いいたします。また離れた場所にいながらどのくらい発電しているのか、毎日パソコンで確認できる「表示装置」もあります。

メーカー、サプライヤーであると同時に、システムインテグレーターである弊社は、商材選びから施工まで、お客様にとって最良の組み合わせをトータルでご提案できます。設備導入費用の借入などについても、一度ご相談ください。

まずは、太陽光発電について少しでも気になることがあれば、お気軽にお問い合わせください。

XSOL OFFICE INTRODUCTION
事業所紹介

エクソル 名古屋営業所

OFFICE

- ADDRESS 愛知県名古屋市中区錦1-5-13
オリックス名古屋錦ビル
- ACCESS 地下鉄伏見駅10出入口より徒歩2分
- INFO 坪数/延床面積: 100.88坪(333.50㎡)
従業員数: 7名(※2012年8月現在)



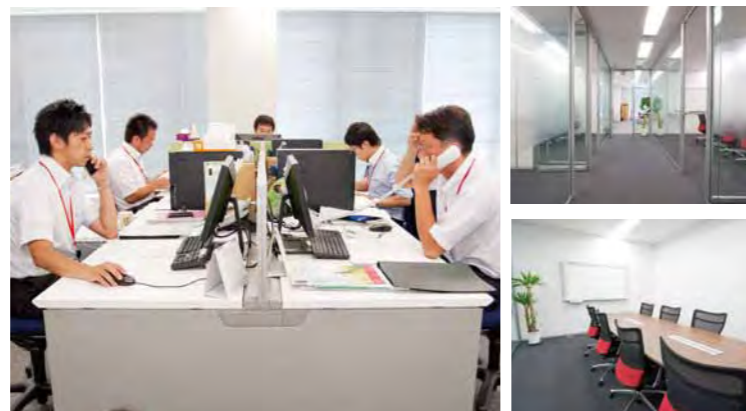
オリックス名古屋錦ビル

MESSAGE



名古屋営業所長 北角夏木

名古屋営業所が所在する愛知県は、太陽光発電の補助金申請件数が最も多く、競争も激しいエリアですが、その分やりがいも感じています。支店昇格を目指し7人の所員一丸となって更なる飛躍をしていきます！



STAFF QUESTION

Q 太陽光発電で実現したい未来は何ですか？



NEWS



TVCM

自然エネルギーの促進に強い発信力を持つ、「坂本龍一氏」が登場し、視聴者に直接語りかけるメッセージ広告で、太陽光の力強さや荘厳さを訴求。



メイキング動画&独占インタビュー

※XSOLホームページ限定のスペシャルコンテンツ

坂本龍一氏のオフショットやNYの高層ビルから撮影した美しい日の出シーン、海外スタジオの臨場感など、TVCM完成までを別カメラで追いかけたVTRと、日頃からエネルギー問題に強い関心と造詣をお持ちの坂本龍一氏だからこそ語れる興味深いインタビュー。

XSOLのイメージキャラクターに坂本龍一氏起用

7/1より全国で放映された新CM、広告などXSOLのイメージキャラクターとして、環境負荷の軽減に対する活動も積極的に行われている世界的音楽家、坂本龍一氏を起用。日本中で節電が叫ばれる中、「ないなら、つくろうよ。」を力強くメッセージし、自然エネルギーを推進する。

NEWS



ホームページの日本語サイトをリニューアル

新TVCM放映開始に伴い、トップページとCM/広告ページを更新。CM/広告ページでは、坂本龍一氏を起用したTVCMの30秒、15秒篇や、CMメイキングシーン、広告グラフィックを掲載。インタビュー動画も随時公開中。

NEWS



世界シェア第3位^(※)を誇るKACO 社と独占販売契約を締結

2012年6月に開催された世界最大規模の太陽光発電展示会Intersolar Europe 2012にて、日本の太陽光発電企業として初めて、ドイツに本社をおくKACO 社とインバーター製品の日本における独占販売契約を締結。

※2012年版 太陽電池関連技術・市場の現状と将来展望(富士経済)より

NEWS



XSOL の情報発信メディア XPRESS WEB オープン

タイムリーな業界情報や本誌の見どころをまとめて掲載する他、太陽光にまつわるFAQや用語集などお役立ちコンテンツも満載。今後、順次新しいコンテンツも公開予定。